

## 益田さん、 小楠さんが退任

本町の移住定住コーディネーターの益田啓光さんと協力隊の小楠雄士さんが3月31日で退任します。

益田さんは平成29年に協力隊に着任し、町内の空き家や移住に関する活動を展開。3年間の任期を終えた後も移住定住コーディネーターとして、空き家活用事業を担いました。

小楠さんは平成30年に協力隊に着任し、映画『夕陽のあと』のプロデューサーとして、本町の魅力を多くのかたがたに伝えました。益田さんと小楠さんの退任のあいさつを紹介します。

この4年間で、川商ハウスの支店誘致や空き家改修補助制度の改正、「空き家リフォームローン（そらっしゅ）」の開始といった環境整備をしつつ、88件の賃貸・売買に関わらせていただきました。その中でも46件は町外からのUターンやアイターンのかたがたでした。移住の窓口を置いて「長島には魅力があるなあ」と思うことがたくさんありました。「初めて長島に入った時にものすごいエネルギーを感じた」「全国回ったけど長島が一番だった」という話を聞くことも私にとっては珍しくありませんでした。この魅力を作っているのは町民の皆さんの日々の生活そのものだと思います。家族や仕事、畑、海集落、歴史を守るために頑張る皆さんのエネルギーが、風景や町並みから伝わるのだと思います。私もおかげでこの4年間を楽しく幸せに過ごすことができました。心から感謝しています。



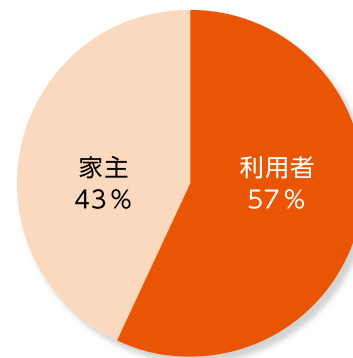
移住定住コーディネーター  
益田 啓光

## 感謝だけの 4年間でした！

5年目以降も長島に住み続ける計画もあったのですが、福岡で離れて暮らす妻が1人目の出産を7月に控えており、4月から福岡で産前産後を全力で支えていくつもりです。引き続き、空き家に関する情報や相談は役場地方創生課までご連絡ください！

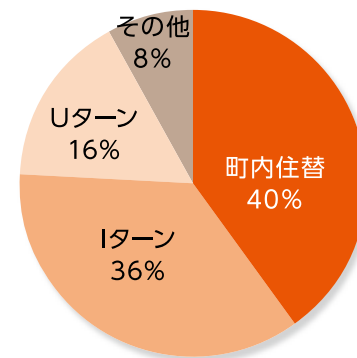
問い合わせ先  
役場地方創生課地方創生係  
☎(86)1101[直通]

空き家改修補助制度の使用状況



2017年5月～2021年3月  
合計60件

空き家活用のパターン



2017年5月～2021年3月  
合計88件

## もう少し

## お世話になります

「長島町が舞台の映画制作」を担当し、初年度に映画『夕陽のあと』の撮影を迎えました。プロデューサーとして作品に関わらせていただき、制作費の資金調達やオーディション、撮影場所の決定、台本制作のほか、テレビやラジオなどでの作品紹介をさせていただきました。令和元年11月から作品を全

国公開することができました。県内では4カ月間もの長期上映をしていただき、ヨーロッパ3カ国で国際上映をすることもできました。令和2年6月にはDVD販売やレンタル、配信なども始まり、多くのかたに長島町の魅力を伝えることができたのではないかと手応えを感じています。これも全て、映画制作にさまざまな形で関わってくださった皆さんのおかげです。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。今後は映画『夕陽のあと』の制作で培った経験を生かし、新たに長島町を舞台とした映画作品を企画し、実は…すでに始動しております！



映画『夕陽のあと』  
長島大陸映画実行委員会



「長島に帰ってきた女性」と「ずっと長島で暮らしてきた女性」、それぞれの女性を主役に迎え、2人の監督が1つの物語を2つの視点で演出し「視点を変えらることで分かり合える世界があるのではないか」というテーマに挑む青春物語を考えています。令和2年夏に撮影を行う予定でしたが、このような時勢で延期を余儀なくされ、今年5月に撮影の段取りを組み直して、「コロナ対策に配慮しながら前進しています。」

映画『夕陽のあと』では精一杯取り組んでいたつもりですが、実現出来なかったこともあり、その悔しい思いを次回作につなげて、長島町が魅力的な町として、多くのかたに知っていただけるきっかけになればと思っています。任期終了後もしばらくの間、長島町にはお世話になりますので、引き続きよろしくお祈りします！今まで本当にお世話になり、ありがとうございました！



映画プロデューサー  
小楠 雄士

